

山根モデル 8050世帯 今から どう支援する？

8050世帯、ひきこもり...。地域にどのような居場所をつくり、支援していくのか。

都内※では7割以上のひきこもり者の生計を親が支え、また、その親の半数近くは60代以上だとされています。ひきこもり者への支援には「居場所」が必要だといわれていますが、どのような居場所をつくり、支援に活用すればよいのでしょうか。今回は全国で注目が集まる「山根モデル」による支援システムを通し、世田谷区内で8050世帯やひきこもり者への支援方法を学んでいきます。

※東京都ひきこもりに関する支援状況等調査結果（2021）

2021年**10月19日** (火) 18時00分 ▶ 19時30分

● **開催方法** オンライン(Zoom) ● **定員** 80 アクセス (先着順)

● 講師

山口大学大学院医学系研究科 教授
NPO法人ふらっとコミュニティー 理事長

山根 俊恵 氏



大学院で精神看護学の教鞭を行う傍ら、2005年に精神障害者への地域支援を提供する法人を立ち上げる。従来のひきこもり支援に留まることなく、個別支援、集団支援、社会参加支援への移行を見据えた「山根モデル」が、NHKをはじめ多くのマスメディアで取り上げられている。現在、『ケアマネジャー』（中央法規）や『日経グローバル』（日本経済新聞）にて8050問題に関し連載するほか、2021年9月に『親も子も楽になるひきこもり“心の距離”を縮めるコミュニケーションの方法』（中央法規）を公刊した。

お申し込み方法

お申し込み期限 2021年10月12日(火)

ホームページ または **QRコード**

トップページ >> 福祉関係者の皆さま >> 烏山エリア自立支援協議会申込

メール (必要事項①～④をご記載ください。)

①所属先 ②氏名 ③職種 ④使用するPCの台数



オンライン開催にあたってのお願い

- 各事業所で複数台のパソコンでもご視聴いただけますが、より多くの方が円滑にご視聴できるよう、可能な場合には1事業所パソコン1台でお申込みください。(複数人の同時視聴は構いません。)
- 講話の録画および録音はお断りいたします。
- 円滑な配信にするため、ビデオオフ・ミュートに設定し、受講してください。
- 10月18日(月)までにZoomのURLが届かない場合には、ぽーとからすやままでご連絡ください。

お問い合わせ・申し込み (烏山エリア自立支援協議会 事務局)

烏山地域障害者相談支援センター ぽーとからすやま

TEL 5357-8760 FAX 5357-8761

E-mail support@port-karasuyama.jp

HP URL http://port-karasuyama.jp